

# いまの労働組合は労働者の 切実なニーズに答えているか？

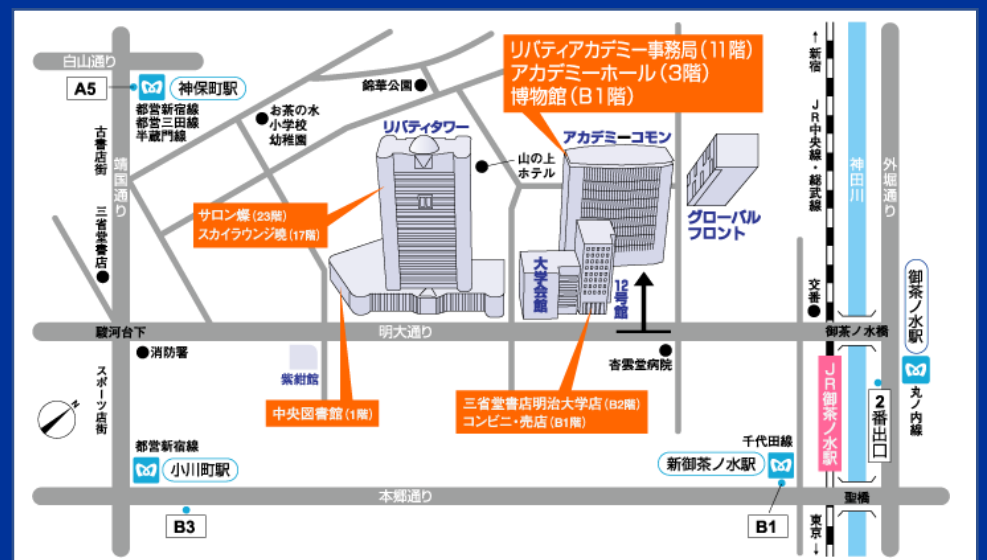
## 思想・行動・主体構築の課題

講師 **熊沢誠** 氏（甲南大学名誉教授）



「ウン十年振りの賃上げ」などと報じられるなかで、人々の生活や働きぶりの困難さは変わらず、その打開に向けた労働運動の活路も不透明なまま。労働者相互の分断はむしろ進んでいる状況です。今回の講師は、徹底した現場主義の立場から時々の課題を提起し、労働組合を叱咤激励し続けてきた労働研究の第一人者。何に立脚し、何から始めるべきか — ともに考えていくことが今回のテーマです。

**熊沢 誠** 1938年三重県生まれ。京都大学経済学部を卒業後、61年~06年、甲南大学経済学部にて在職。近年の著作に、『女性労働と企業社会』（岩波新書、2000年）、『格差社会ニッポンで働くこと』（岩波書店、2007年）『労働組合運動とはなにか』（岩波書店、2013年）、『イギリス炭鉱ストライキの群像』（旬報社2023年）などがある。



日時 **12月8日(金) 18:30~20:30**

場所 **明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー 1階  
1012教室 (JR 茶の水駅から徒歩3分)**

形式 **対面のみ ※申し込み、参加費は不要です。**